



ホトケドジョウ号

12月定例クリーンアップ

【活動報告1】

12月23日(日) 9:00~11:00 曇りのち雨

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋上流～耕地橋
(土嚢袋4袋、長さ1.8m×幅10cmの板(釘が打ちこめれたまま)、ダンボール他回収)

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、石塚正夫、関場俊子、中村健二、角田繁、外川忠志、藤間康司、高橋俊和(泉区)、山田陽治、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、貞廣宇保(小6)、今井康祥、今井幸子、今井翔太(中1)、今井はるか(小4)、佐藤祐紀子、佐藤未颯子(小5)、佐藤颯(小4)、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、高橋真弓、高橋たかよし、高橋悠紀(小4)、深沢大地、長崎光則、五月女陽斗(小4)、細川一雄(計33名)



地蔵前橋上流



作業開始と共に雨が降り出した



回収した4袋分のゴミ(左端はダンボール)



ホトケドジョウ(仏泥鰌)

学名：*Lefua echigonia*

湧水を水源とする細流や湿地に生息する日本固有種のドジョウ。標準和名ドジョウに比べて体が短く、全長も最大で8cm程とドジョウの間では小型な部類。

生息環境の開発等によって急速に減少しており、環境省RDBでは絶滅危惧IB類に指定されている。

侍従川では主に源流部に生息し、時折中流域でも捕まる事がある。繁殖期は3月～6月頃で、初夏には指先程の仔稚魚を見ることができる。

深沢大地

ネイチャークラフト教室

1月26日(土) 9:00~15:30

【活動報告2】

一葉(小4)

1/26(土)に、今年最初の侍従会の活動「ネイチャークラフト教室〜つるでカゴ作り」に参加しました。

午前中は、かご作りのためのツルをとりに山に行きました。生きものはあまり見かけませんでした。ツルを取るのは楽しかったです。

午後は六浦地区センターでカゴ作りです。私はツルかごでペットのカナヘビの家を作ることになりました。去年のツルかご作りでもカナヘビの家を作ったのですが、カナヘビが増えたので、新しい家を作ることになりました。

私は丸いカーブにしたかったので、ツルをペンチで曲げずに、手でカーブを作りながら曲げたので、腕が疲れしました。カナヘビの家なので、なるべく小さくて、せまい、カナヘビが落ち着く家にしたかったのですが、思っていたよりも大きくなってしまいました。でも家に帰って、カナヘビのケースにツルかごを入れると、さっそくカナヘビが入ってくれたのでよかったです。

ツルかご作りの参加は3回目ですが、今回もいい物が作れてよかったです。来年も参加したいです。



1月定例クリーンアップ

【活動報告3】

1月27日(日) 9:00~10:30 晴れ

細川一雄

実施内容:大道東橋~大道橋~朝比奈橋上流~耕地橋(土嚢袋7袋、長さ1m位の鉄の棒×2本、財布の入ったショルダーバッグ(中に免許証、船舶操舵許可証、クレジットカード、ポイントカード、小銭[500円玉2枚他])⇒大道交番に届出、発泡スチロールのBOX他回収)

参加者:長野政治、角田繁、村田章夫、西澤博厚、中村健二、関場俊子、外川忠志、小坂信房、飯村優介、佐野真吾、水野公秀、



朝比奈養護施設前

水野秀昭(小5)、柏倉正和、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、今井康祥、今井翔太(中1)、深沢大地、貞廣宇保(小6)、一葉(小4)、細川一雄(計21名)



回収した7袋分のゴミ鉄棒と発泡スチロールの箱



朝比奈交差点横の養護施設前、いつも多数の吸殻が捨てられている

3月5日に神奈川県横浜川崎治水事務所から、3月4日から行われる侍従川土砂除去及び浚渫作業の説明が大道コミュニティハウスで行われました。

侍従会からは、細川、山田(報告者)、飯村、佐野、深沢が参加しました。

治水事務所から、今回の進め方に対してお詫びがあり、工事の説明がありました。

「中流域全域(大道橋~大道東橋)の土砂除去&浚渫」、「一時間50mm雨量に対応する断面積確保のため、水底も水面上の土砂も同様に削り取る。」というのが、今回の工事の概要です。

侍従会からは、以前行われた土砂除去工事によるハゼ類(シマヨシノボリ、ウキゴリ、チチブ)への影響や侍従川における重要な生物と環境に関する説明を、資料をもとに佐野が説明。今回の工事については、本来なら、中流域は時差をつけて段階的に工事すること、いろいろな生物の繁殖期に重ならない秋に行うという最も重要なことが守られなかったのは残念であります。以下は遵守する約束はとりつけました。

- 重要な生物生息ポイント(大道県営住宅跡地前と明戸橋下流)の水際は手をつけない
- 水草の地下茎は、保管し工事後に埋め戻す
- 川底を削る際、礫、石は保管し工事後元に置く
- 州は全て削らず1/2~1/3は水面上に残す

また、草刈については、水草の成長期(4~7月)は刈らない、中流域全域を一気に刈らずブロック別に分け、時差をつけて段階的に刈ることを要望し、その他の要望については資料を渡し、来年度の意見&情報交換会の際の参考としてもらうことにしました。

2月定例クリーンアップ

【活動報告4】

2月24日(日) 9:00~11:30 晴れ

細川一雄

実施内容:大道東橋~大道橋~朝比奈橋上流~耕地橋(土嚢袋6袋、長さ2m位の鉄の棒、傘、ダンボール(壊れていてあちこちに散らばっていた)他回収)

参加者:長野政治、西澤博厚、角田繁、村田章夫、関場俊子、中村健二、小坂信房、山田陽治、飯村優介、柏倉正和、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、今井康祥、今井翔太(中1)、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、水野公秀、水野秀昭(小5)、深沢大地、小池碧馬、貞廣宇保(小6)、細川一雄(計23名)



地蔵前橋上流でのゴミ拾い



朝比奈橋上流の発泡スチロールの細かい粒



草にこびりついた発泡スチロールの粒(多数有り)



里野橋下、植木鉢の中身がそのまま棄てられている



大道橋上流、青木橋下に有った境界杭



回収した6袋分のゴミ

トピックス

12/8(土) 第1回子ども会議実行委員会が木原生物学研究所で行われる。小池、柴田、水野、五月女、柏倉が参加。実行委員長に水野、書記に柴田。テーマは「取り戻そう生命(いのち)あふれる輝く自然」に決定。

子ども会議実行委員会は、1/12(土)と2/16(土)に日枝小学校(第2回、第3回)にて、3/9(土)にフォーラム南太田(第4回)にて開催されました。

12/23(日) 学生部の大道溪谷整備作業が雨のため中止

2/18(月) 大道小学校との話し合いを行いました。[大道小学校] 富岡校長、正木副校長、鷺谷先生、富岡先生 [侍従会] 山田、佐野、河本が出席



ピカピカタンポポだより⑪

横浜市立大道小学校 鷺谷康子

大道小学校の環境ニュース！

その1 菜の花は気候のせいか…

大道小では、タンポポだより⑩でもお知らせしたように、卒業する6年生に菜の花を飾って送り出そうと、全校で育てています。元気に育っているなと思ったのですが、今年のあったかい気候のせいか、12月から黄色い花がちらほら、1月の初めには満開になってしまいました。

3月までは花がもたないということで、いろいろな方に聞き、花の部分の切ることになりました。そして、取った菜の花は押し花にして6年生へのお手紙に飾ることにしました。



2回目が咲くのか心配なまま、中心に世話をしている4年生が泣く泣く切りました。

心配だったのですが、2月の中旬からまた咲き始めて左の写真は、3月2日の様子です。おかげさまで、3月19日の卒業式には、例年よりも細めですが、菜の花を飾って送れそうです。

その2 ちょっと自慢?! じょうろのこと

大道小の裏庭に、「じょうろ置き場」があります。これは、地域の森さんをはじめ大道村の方々が、大道小の子どもたちのために作ってくださったものです。

これができる前は、大きなかごに入れることになっていましたが、大道小のじょうろは、植物に水をあげるだけでなく、時には、トンボ池の中の生き物を見るのにちょっと入れたり、すくったりといろいろな(特殊?) 使われ方をするので、おきっぱなしになっていたり、部品が取れたままになっていたり、ちょっと問題でした。それがこの「じょうろ置き場」ができてからきちんと10個いつも、この状態にきちんとなくなっています。



「もともにもどしなさい!」と、注意するより、片づける環境をしっかりと作ることのできるのだと、子どもたちに教えられたように思います。

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

去年の12月には沖縄にて侍従会育ちの熊井健氏のガイドでヤンバルの森探検が実現した。寒波の中でしたが生き物の気配のすごさに驚く。フィールド感覚をまずは体験してきた。

年明けて三浦半島の谷で基本トレーニング。なんとなく南方の溪谷の雰囲気もある。高低差と険しさは半島一。水は冷たく寒いが淡水エビが多く、ノスリが現れたり、大型のヒラタケの倒木と出会うなどしてうれしくなった。ヤブが濃いので途中までの観察遊行でひきかえしても楽しめる。今回は訓練なので頂上まで。



三浦半島の谷



ヒラタケ



ヤンバルの谷



沖縄のイボイモリ



三浦半島の谷屈指の滝

展覧会のお知らせ

2019年3月25日(月)～31日(日)に上野公園の東京都美術館にて独立春季新人選抜展2019が開催されます。詳しくは以下のホームページで。

飯村優介

<http://www.dokuritsuten.com/shinjin/2019/index.html>

《環境ポスター紹介》

大道小学校エコアップ委員会(5、6年生)の子どもたちが描いてくれました。侍従川沿い(大道一丁目緑地から泥牛橋までの間)に掲示してありますので、現地でもご覧ください。



琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～
～ ハイ (コブラ科) ～



徳之島にて撮影

学名 : *Sinomicrurus japonicus boettgeri*

体長 : 30～56センチ

分布 : 沖縄島、渡嘉敷島、伊平屋島、具志川島、
屋我地島、徳之島

和名の由来は沖縄島の方言(ウチナーグチ)で「日照り」を意味し、本種が干ばつが続くと姿を見せるという迷信から来ている。コブラ科の蛇ではかなり小型の種類だが毒の強さはハブよりも強いと言われている。しかし、性格が大人しい



久米島にて撮影

え口が小さすぎるため人の指ほどの太さでは咬めないため、今のところこの蛇による被害は出ていない。

主にトカゲ類(特にヘリグロヒメトカゲ)を主食としているようで、これらが多く生息する森林環境で見かける。琉球列島に生息する日本固有種で地域ごとに3つの亜種に分かれているが奄美大島、加計呂麻島に生息する亜種はヒャンと呼ばれ、別種かと思うほど模様が異なる。

監修 : 熊井健 (沖縄在住)

生き物発見記録

9/20頃 大道東橋付近にてウナギを釣り上げる。仕掛けはペットボトルに糸、おもり、針、エサはミミズ(塩島)



北の国から ～氷を楽しむ～ 瀧本宏昭

「さっぽろ雪まつり」というイベントの名前を聞いたことがあるでしょうか？

札幌市内の大通りなどに一週間巨大な雪像が並び、約250万人が来場する大きなお祭りです。11月から4月までの約半年間雪が積もる北国ならではの祭りですが、北海道にはそんな地域だからこそ楽しめる風景がたくさんあります。今回は、この冬に苫小牧市周辺で見られた氷にまつわる風景をご紹介します。

まずは、だれでも行ける隣町のお祭り「支笏湖氷濤(しこつこひょうとう)まつり」。日本一透明度が高い支笏湖の水で作った、大きな氷の造形物が並ぶお祭りです。針葉樹と氷のトンネル、登れる氷のお城、大人も怖い氷の滑り台などが並び、夜にはライトアップされます。

続いては、雪の中を歩く装備が無いと見るのが難しい「七条大滝」。冬の間、天然の氷柱になる滝です。私は、雪が多い時期に挑戦しましたが、専用の装備が無かったため、膝ほどもでの落とし穴に無数に落ちるような感覚になる「つぼあし」状態で心が折れて帰宅。2度目の挑戦でたどり着きましたが時期が遅くほとんど解けており、写真のような状態でした。ただ、この状態でもきれいだったので、来季リベンジしたいと思います。

最後は凍った川。写真の場所は安平(あびら)川です。今年は街中でも氷点下20度以下になり、鼻の穴が凍る記録的な大寒波がきたことで、普段凍らない川が凍ってしまいました。この場所は普段立えない場所なので貴重な風景です。ただ、この時は体重150kgほどあるエゾシカの足跡があったため乗りましたが、氷には気を付けて乗りましょう。

この冬は氷という面のこの地域の魅力にふれることができました。



氷濤まつりライトアップ



氷づけの魚の展示も



上からの七条大滝、来季は降りたい



安平川ど真ん中から、メシッと鳴ってドキッ

侍従川定例調査報告 学生部

2018年12月23日(日) 9:00~11:00 曇り時々雨

【調査範囲】 六浦二号橋~二の橋

【確認した生物】 チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリング、チチブ、シマヨシノボリ、ニホンウナギ、モクズガニ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、ヤマトクロスジヘビトンボ、ガガンボsp.、コヤマトンボ、コオニヤンマ、コシボソヤンマ、ミシシippアカミミガメ

2019年1月27日(日) 9:00~10:30 晴れ

【調査範囲】 六浦二号橋~第二山王橋

【確認した生物】 スミウキゴリ、ウキゴリ、チチブ、シマヨシノボリ、ビリング、イシマキガイ、カワニナ、コモチカワツボ^{※1}、モノアラガイ、サカマキガイ、ウスイロオカチグサ^{※2}、台湾シジミ^{※3}、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、コシボソヤンマ(幼虫)、ハグロトンボ(幼虫)、ミシシippアカミミガメ(目視)



貝類

※1 淡水性の小型の外来巻き貝で、恐らく数年前からいた種だと思われませんが、しっかり記録したのは今回が初めてです。ホタルのエサになる一方、栄養価が低くホタルの小型化や減少に繋がる恐れがあるとの事です。

※2 こちらも初記録の巻き貝で、水際に生息する陸生種のようなです。

今回の調査では、川の中洲に近い部分の転石下で3個体見つかりました。

コモチカワツボと本種は、今回参加して頂いた観音崎自然博物館の山田博和氏に同定して頂きました。ありがとうございました。

※3 長島橋付近で昨年から記録されている台湾シジミを今回も記録しました。

2019年2月24日(日) 9:00~11:00 晴れ

【調査範囲】 六浦二号橋~第二山王橋

【確認した生物】 スミウキゴリ、チチブ、シマヨシノボリ、アベハゼ、メダカ属の一種、イシマキガイ、カワニナ、コモチカワツボ^{※1}、台湾シジミ^{※2}、モクズガニ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、コシボソヤンマ(幼虫)、ヤマサナエ(幼虫)、ショウジョウトンボ(幼虫)、ハグロトンボ(幼虫)、ガガンボ科の一種(幼虫)Tipura 属(?)



テナガエビ

※1 前回のクリーンアップ調査で記録されたコモチカワツボを今回も確認しました。

※2 昨年より確認されはじめた台湾シジミ(淡水性の外来二枚貝)も長島橋付近の一部だけですが毎月採集できています。

事務局だより

2019年度 ふるさと侍従川に親しむ会 総会のお知らせ

日にち：2019年6月1日（土）

第Ⅰ部 会員の集い 18:00～19:00

会場：大道コミュニティハウス（予定）

第Ⅱ部 ホタル観察会 19:30～20:30（参加自由）

会場：大道中学校校庭

詳細は5月の連休明け頁にハガキにてお知らせします。

◆4月以降の活動予定◆

☆定例クリーンアップ4/28（日）、5/26（日）、6/23（日）

9時～12時 大道一丁目緑地(ちとせ園)集合 ※雨天延期…翌週日曜

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手（必要な人）、網（使いたい人…貸出あり）、
着替え（心配な人） ※川の上からの参加でも構いません

☆4/6（土）春の草摘み&野草料理 9時大道小学校集合 解散は15時頃

活動場所：午前…朝比奈町で野草摘み 午後…大道一丁目緑地(ちとせ園)で野草料理
事前申込み不要 雨天中止 参加費：会員無料、非会員¥300

持ち物：参加費(非会員)、山歩きできる格好、摘んだ野草を入れる袋(レジ袋など)、タオル、
軍手(必要な人)、レジャーシート(必要な人)、長靴(持ってこれる人)、箸、その他

■学生部の活動

☆4/13（土）学生部新入生歓迎遠足 in 森戸川 9:00～16:30 ※雨天中止

集合：9:00京浜急行線 [新逗子] 駅 解散：16:30京浜急行線 [新逗子] 駅
対象：“新中学生”と“中学生以上の全ての方”

持ち物：川に入れる格好、バス代(往復400円)、昼食、飲み物、帽子、タオル(汗拭き、身
体を拭く用、お着替えタオル等)、着替え、生もの採集に使いたい道具(バケツ・網等)

申し込み：参加者氏名、年齢（学年）、住所、緊急連絡先を明記の上、4月5日（金）
までに eiji.kanegonn.jiju@gmail.com（金子）宛にメールをお送りください。

※社会福祉協議会のボランティア行事保険に加入します。

※住所は保険手続き以外の目的では使用しません。

問合せ：金子英司 MAIL:eiji.kanegonn.jiju@gmail.com TEL:090-7271-5100

《編集後記》 この冬は、ほとんど雪が降らずに春になって
しまいました。寒いのは苦手ですが、雪が積もらなかった
のはちょっと残念です。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会
事務局連絡先
jijyukai@gmail.com